



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ
コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 松崎 善則

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO 管理本部本部長 (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	57,453	13.9	1,385		1,710		1,074	
2022年3月期第2四半期	50,437	5.3	2,648		2,182		1,994	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 974百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 2,046百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	37.71	
2022年3月期第2四半期	69.99	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	59,590	30,730	51.6	1,078.45
2022年3月期	59,703	30,069	50.4	1,055.23

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 30,730百万円 2022年3月期 30,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		7.00		12.00	19.00
2023年3月期		12.00			
2023年3月期(予想)				20.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	9.8	4,800	185.2	5,230	85.0	3,000	309.4	105.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	30,213,676 株	2022年3月期	30,213,676 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,718,367 株	2022年3月期	1,718,367 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	28,495,309 株	2022年3月期2Q	28,500,437 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
【第2四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、7月以降に新型コロナウイルス感染再拡大があったものの、社会経済活動の正常化は進み、回復基調で推移しました。一方、国際情勢に起因する原材料やエネルギー価格の高騰、円安の進行を背景とする先行き不透明な状況が継続しています。衣料品小売業界においても、個人消費に改善が見られるものの、原材料高、円安の進行や物価上昇による消費者マインドの低下懸念など、厳しい経営環境も続いています。

このような状況の下、当社は2023年3月期のグループ経営方針に「感動提供 すてきな接客 すてきな商品 ヒトのチカラ モノのチカラ」を掲げています。創業以来、経営をはじめ日々の営業活動においても常にお客様視点を判断軸とし、ヒト（接客・サービス）、モノ（商品）、ウツワ（施設・空間・環境）をバランス良く磨き上げることで、お客様に感動を提供してきたことが当社の強みであると認識しています。この強みに一層磨きをかけ、当社の価値創造の基盤となるお客様価値を高めることを起点に、全てのステークホルダーの価値をバランス良く向上させることを目指しています。

「感動提供」の実現に向けて、既存店を回復させることを重点戦略に定め、「感動接客-販売力の底上げ」、「感動クリエイション-商品力の底上げ」、「新たなUAへの挑戦-積極的なトライアンドエラー」に取り組んでいます。

「感動接客」では、お客様の体験価値を高める取り組みを軸に推進しています。当社が強みとする、日々のきめ細かな接客をご評価いただき、お客様からの感謝の件数が増加傾向、クレーム件数は減少傾向です。引き続きOMO施策も積極化し、通販サイトでスタッフスタイリングの投稿を増やした結果、コンテンツ経由の売上が計画を上回りました。また、定価販売比率の向上を目指し、店舗在庫を適正化するとともに商品の魅力を的確に伝えています。これらの結果、単体の小売+ネット通販既存店売上高前年同期比は115.5%となりました。

「感動クリエイション」では、品番数を削減しマーチャンダイジングの精度を上げるとともに、1点当たりの商品のクオリティを高めました。これらの施策と販売部門の定価販売比率向上への取り組みが相乗効果を発揮した結果、定価販売比率が前年同期比で大幅に向上し、単体の小売+ネット通販既存店客単価前年同期比が114.5%となりました。

「新たなUAへの挑戦」では、若年層向け商品や新たな法人企画を展開するなど、チャレンジする風土が醸成されつつあります。並行して、新たな挑戦を踏まえた次次中期経営計画の策定を進めています。

これらの重点戦略を下支えしつつ、当社の持続的成長も担保するベース戦略として「ES（*）推進」、「DX推進」、「サステナビリティ推進」の3つの戦略も実行しています。

（*）ES : (Employee Satisfactionの略。従業員満足を指す。)

感動提供の源となる従業員に対する「ES推進」では、従業員のモチベーション向上策を推進しています。昇格制度や報酬設計を見直したほか、従業員の学びへの関心の高まりを背景に教育の拡充を検討しています。加えて、適材適所の配置や異動の活性化に向けたシステムを導入するなど、各種人事施策を検討、実行しています。

「DX推進」では、生産背景の生産性向上を目指し、マーチャンダイジングから生産、物流までをデータで一元管理する仕組みの導入を進めています。自社通販サイトでは、セッション数やアプリのダウンロード数が増加するなど、規模の拡大を図っています。引き続きシステム改修や在庫配分の見直しを進めるなど、課題解決にも取り組んでいます。SNSによるマーケティングにも注力しています。専門チームが主要SNSを活用したPR戦略立案から運用までを担い、お客様とのコミュニケーションを深めています。

当社がお客様や社会から永続的なご支持を得るための「サステナビリティ推進」では、サステナビリティ活動のブランド化を推進しています。当社の活動を「SARROWS（サローズ）」と名付けPRを開始しました。サステナビリティに積極的に取り組んでいる会社であることを、お客様をはじめとするステークホルダーに印象付けることで、当社の企業活動に共感いただくことを目的としています。

出退店については、引き続き慎重に精査を行ったうえで、トレンドマーケットで1店舗の退店、ミッド・トレンドマーケットで1店舗の出店を実施した結果、当第2四半期連結累計期間末の小売店舗数は190店舗、アウトレットを含む総店舗数は216店舗となりました。

連結子会社の状況については、株式会社コーエン（決算月：1月）、海外子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司（決算月：1月）とも増収となりました。出退店については、株式会社コーエンは2店舗の出店、3店舗の退店により当第2四半期連結累計期間末の店舗数は86店舗、台湾聯合艾諾股份有限公司は1店舗の出店により当第2四半期連結累計期間末の店舗数は8店舗となっています。

以上により、グループ全体での新規出店数は4店舗、退店数は4店舗、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は310店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比13.9%増の57,453百万円となりました。売上総利益は前年同期比20.4%増の29,852百万円となり、売上総利益率は前年同期から2.8ポイント増の52.0%となりました。これは在庫の調達をコントロールし、値引きを抑制したことなどによるものです。販売費及び一般管理費は各項目で売上回復に伴う変動費の増などにより前年同期比3.7%増の28,466百万円となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の営業利益は1,385百万円（前年同期は営業損失2,648百万円）、経常利益は1,710百万円（前年同期は経常損失2,182百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,074百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,994百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して881百万円（2.3%）増加の39,356百万円となりました。これは、商品が2,502百万円、貯蔵品が238百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が1,616百万円、未収入金が311百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して995百万円（4.7%）減少の20,233百万円となりました。これは、基幹システム刷新に向けた準備などにより無形固定資産が98百万円増加した一方、不採算店舗の見極めによる減損損失の計上や減価償却などにより有形固定資産が293百万円減少したこと、店舗の退店により差入保証金が420百万円減少したこと、および繰延税金資産が252百万円、投資その他の資産のその他が127百万円それぞれ減少したことなどによります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して781百万円（3.1%）減少の24,655百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3,147百万円、賞与引当金が352百万円それぞれ増加した一方、短期借入金が2,200百万円、未払金が1,317百万円、未払法人税等が200百万円、流動負債のその他が586百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して6百万円（0.2%）増加の4,203百万円となりました。これは、出店などに伴い資産除去債務が6百万円増加したことなどによります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して661百万円（2.2%）増加の30,730百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により1,074百万円増加した一方、配当金の支払により341百万円減少したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきまして、2022年5月11日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,593	3,977
受取手形及び売掛金	184	134
商品	20,030	22,532
貯蔵品	516	755
未収入金	11,385	11,074
その他	765	882
流動資産合計	38,475	39,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,493	3,254
機械及び装置（純額）	808	740
土地	569	569
建設仮勘定	12	72
その他（純額）	345	298
有形固定資産合計	5,229	4,936
無形固定資産		
その他	1,356	1,454
無形固定資産合計	1,356	1,454
投資その他の資産		
差入保証金	7,049	6,628
繰延税金資産	4,141	3,888
その他	3,453	3,326
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	14,642	13,842
固定資産合計	21,228	20,233
資産合計	59,703	59,590
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,858	12,005
短期借入金	7,800	5,600
未払金	4,434	3,117
未払法人税等	662	461
賞与引当金	801	1,153
役員賞与引当金	-	18
資産除去債務	79	83
その他	2,801	2,215
流動負債合計	25,437	24,655
固定負債		
資産除去債務	4,164	4,171
その他	32	32
固定負債合計	4,197	4,203
負債合計	29,634	28,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,415	4,444
利益剰余金	27,771	28,504
自己株式	△5,006	△5,006
株主資本合計	30,210	30,972
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△141	△241
その他の包括利益累計額合計	△141	△241
純資産合計	30,069	30,730
負債純資産合計	59,703	59,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	50,437	57,453
売上原価	25,635	27,600
売上総利益	24,801	29,852
販売費及び一般管理費	27,450	28,466
営業利益又は営業損失(△)	△2,648	1,385
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	74	77
仕入割引	31	30
受取賃貸料	6	6
受取手数料	5	2
助成金収入	80	8
持分法による投資利益	257	146
その他	49	77
営業外収益合計	505	349
営業外費用		
支払利息	15	7
賃貸費用	7	7
その他	16	10
営業外費用合計	39	24
経常利益又は経常損失(△)	△2,182	1,710
特別損失		
固定資産除却損	17	1
減損損失	438	113
その他	43	-
特別損失合計	498	114
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,681	1,595
法人税、住民税及び事業税	61	268
法人税等調整額	△747	252
法人税等合計	△686	520
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,994	1,074
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,994	1,074

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,994	1,074
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△51	△100
その他の包括利益合計	△51	△100
四半期包括利益	△2,046	974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,046	974
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,681	1,595
減価償却費	588	435
無形固定資産償却費	176	190
長期前払費用償却額	201	308
減損損失	438	113
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29	352
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6	18
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	15	7
助成金収入	△80	△8
売上債権の増減額(△は増加)	1,079	462
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,183	△2,740
その他の流動資産の増減額(△は増加)	233	△162
仕入債務の増減額(△は減少)	2,329	2,878
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△474	△417
持分法による投資損益(△は益)	△257	△146
その他	80	52
小計	△1,556	2,940
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△15	△7
助成金の受取額	80	8
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	562	△409
営業活動によるキャッシュ・フロー	△927	2,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△173	△191
資産除去債務の履行による支出	△171	△61
無形固定資産の取得による支出	△612	△390
長期前払費用の取得による支出	△18	△1,283
差入保証金の差入による支出	△60	△27
差入保証金の回収による収入	349	448
その他	△13	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△700	△1,506
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△225	△2,200
配当金の支払額	△0	△341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△225	△2,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	△100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,905	△1,616
現金及び現金同等物の期首残高	6,604	5,593
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,698	3,977

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。